

# 15.岐阜県高山市における活動実績と今後の展開

<p>認定日</p>	<p>平成 29 年(2017 年)</p>	
<p>位置図・アクセスと地域の紹介</p>	<p><b>位置図</b></p> 	<p><b>地域の紹介</b></p> <p>平成17年2月の1市9町村の合併により、面積が2,177.61平方キロメートルと東京都とほぼ同じ面積の日本一広い市となりました。「国際観光都市」として知られ、平成28年には年間451万1千人の観光客(うち外国人宿泊者数は過去最高となる46万1千人)が訪れました。伝統的建造物群が立ち並ぶ古い町並、奥飛騨温泉郷、2つの国立公園など豊かな伝統文化と自然資源に恵まれ、多彩な魅力が溢れています。</p>
<p>地域資源、特産品等の紹介</p> 	<p>江戸時代の面影を残す古い町並や、国内に唯一現存する高山陣屋など、市内には様々な歴史的建造物が残るほか、伝統文化が今に息づいています。</p> <p>16世紀後半から17世紀が起源とされる高山祭は日本三大美祭のひとつに挙げられ、「高山祭の屋台行事」を含む日本の「山・鉾・屋台行事」は平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。</p> <p>また、農業も盛んで、米や野菜、畜産物、果物などは、昼夜の大きな気温差、冷涼な気候、豊富でおいしい水など、飛騨地方特有の自然の恵みを受けて育てられています。なかでも当地で始まったビニールハウスによる雨よけ栽培により、ホウレンソウやトマトをはじめとする野菜の生産販売は大きく飛躍し、全国に誇る大産地となりました。</p> <p>黒毛和種の最高級ブランド「飛騨牛」の飼育も盛んに行われ、全国でもその名が知られています。</p>   	
<p>環境保全の活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高山市環境基本条例に基づき、高山市環境基本計画を策定。豊かで快適な環境の保全及び創造に関する施策を積極的に推進しています。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の保全 (いのちの森づくり、グリーンツーリズムの推進)</li> <li>・自然エネルギーを活かしたまちづくり(太陽光パネル、ペレットストーブの活用)</li> <li>・低炭素社会の形成(クリーンエネルギー自動車の普及、森林保全) など</li> </ul> </li> <li>●有機物等を有効に活用した土づくり並びに環境への負荷の大きい化学肥料、化学合成農薬等の効率的な使用と節減を基本とし、生産性と調和できる幅広く実践可能な環境にやさしい農業を推進しています。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぎふクリーン農業(化学肥料及び化学合成農薬を30%以上削減)</li> <li>・耕畜連携の推進(飼料用米・飼料作物等の生産や市内で発生する家畜堆肥の有効利用)</li> </ul> </li> </ul>	
<p>活動の成果</p>	<p>自然環境の保全・活用を図る施策等により、民間事業者等による大規模太陽光発電・木質バイオマス等の利用拡大など、様々な導入の取組みが広がりつつあり、市民の意識も高くなってきております。また、飛騨の農畜産物についても恵まれた自然環境によって、農畜産物のトップブランド産地となっており、国内外で多く消費されています。</p>	
<p>今後の展開(課題)等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい農業を推進し、安心・安全で高品質な飛騨の農畜産物の更なるブランド化を進めます。</li> <li>・平成30年の米・食味分析鑑定コンクールに向けて、飛騨のお米の食味値向上を目指しブランド化を図ります。</li> </ul>	